

かわさき教育プラン教育行政改革重点施策関連図

改革の視点	改革の方向性
<p>「組織風土」、「組織の遺伝子」の改革が求められている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民と行政の協働による教育改革 自治体・地域・NPO等との連携 ・ 「出る杭を育てる」行政風土 ・ 行政依存から特色ある学校づくり、自己責任の確保と自主裁量の拡大 	<p>教育財政の地方分権化と財政危機への主体的対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政難への基本的対応策の策定 ・ 教育サービスの受益者の整理・・・私的利益性と社会的・公的利益性の構造化 ・ 教育費の効果的活用のあり方 ・ 複数年予算編成、柔軟な学校予算の編成と自主裁量権の拡大 ・ 予算面での学校教育と社会教育の壁の低減化や撤廃、有効活用 ・ 学習者主体の予算編成と分野間の重複活用 <p>行政サービスにおける官民連携PPP（Public Private Partnerships）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育行政における民間部門と公共部門の役割分担・・・PFIの推進など ・ 市民の潜在的能力を教育分野へ参画・・・人材、資金、アイデアなどの活用
<p>「画一」から「多様性」へ、「量の平等」から「質の特色化」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の積極開示による長所の伸長と課題の発見 ・ 前例踏襲、前年度基準主義からの脱却 	
<p><明確な>目標設定、具体的で明確な証拠（データ）を元にした施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「教育論的」建前よりも、目標と結果との整合性（「効果性」）を重視 	<p>行政評価、学校評価の充実</p> <p><教育行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育行政サービスに関する需要者優先主義の徹底 ・ 教育行政評価システムの開発 <p><学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校マニフェスト（学校公約）」の創造 ・ 説明責任を明確にし、学校改善につながる学校評価の開発 ・ 学校の組織的改革（ヒト、モノ、カネ）・・・学校としての全体的な活動の再編 <p><生涯学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの満足度調査に基づく需要者優先の改革 ・ 誕生時から生涯を見通した学習保証のシステムづくり
<p>縦割り行政から横断的な行政システムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を主体とした行政サービスの見直し（指導部、人事部、施設部、管理部などの一体的推進） ・ 学校現場に中心を置く改革、柔軟で課題密着型の行政支援活動 	<p>学校行政単位の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市教委の権限移譲と行政区単位での学校への支援役割・活動の重視 ・ 市教委は全体目標の設定と行政区間の連絡調整、調査研究や立案・調整能力の開発 ・ 行政区単位での学校間の連携、ネットワークづくり <p>教育行政の総合化、構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他分野との連携協力の推進・・・たとえば、教育と福祉、町づくりとの一体的推進 <p>情報化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校情報ネットワークの整備 ・ 生涯学習ネットワークの構築と支援活動の整備 ・ 行政・学校・市民間のネットワーク化・・・迅速化、簡素化、意思疎通の多元化
<p>教職員が活性化し、その能力が正当に評価されるシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修機能の見直しと効率化 ・ 教職員の資質能力の向上と不適格教員への指導・研修体制の整備 	